



トイレのことをどうして WC っていうの

ダブリュスイー ウォータァ クラゼト リゃくご
WC はwater closetの略語

トイレのことを WC といいます。これは英語でwater(水) closet(便所)を短くした略語です。water closet の頭文字の w と c をとり出して、WC と表しているのです。

イギリスの空港や駅では、トイレの入り口に、WC という案内板をよく見かけます。日本でも、この WC という表現をまねて使うようになり、あちこちの公共の場で見られます。

トイレは英語のtoiletからきている

わたしたちが、ふだんにげなく使っているトイレということばは、もともと日本語ではなく、英語からきたものです。英語ではtoiletといいます。イギリスでは、よく toilet という案内板を見かけます。

一方、アメリカでは、トイレのことをbathroomとか rest roomといいます。bathroomはふる場のことですが、トイレとふる場がいっしょになっているので、トイレといわないで、bathroom ということです。また、トイレというと、きたならしく聞こえるので、遠まわしに言っているのです。アメリカの駅や空港では、rest room という案内板が見られます。アメリカでは、あまり WC とか toilet という表現は使わないようです。

(監修・田代 脩)

